

関東 南関東中心にジリ安の展開

(東京) 関東市場の鉄スクラップ市況は軟調様子見の推移を続けている。北関東電炉は様子見の姿勢を維持し、湾岸商社・シッパー筋の間に安値修正の動きが出ているが、南関東では電炉購入価格の値下げ改定が散発し、ジリ安の展開となっている。

関東市場の29日時点のH2炉前実勢価格は1トあたり2万2000~3000円中心。概ね東京製鉄宇都宮の特級購入価格である2万2500円どころに収斂しているが、一部に高値と安値が散見される状況だ。

関東電炉生産の減産基調が続く、鉄スクラップ需要は減少傾向にある。ただ、北関東では電炉入荷にバラつきが見られ、電炉筋は値下げ改定に慎重な姿勢を見せている。一方、南関東市場は一部電炉が荷止を実施していることもあり荷余り感が出ており、電炉筋の値下げ改定が散発している。

湾岸商社・シッパー筋は、浜値を電炉買値に先行して値下げしていたことなどから足元の入荷にバラつきが見られるため、一部で安値修正の動きが見られる。29日時点のH2浜値は2万1500~2000円中心。一部高値があり、最高値は2万2000円まで出ている。

■関東市場の29日からの価格改定 ◇城南製鋼所、全品種500円値下げ、特級建値2万2000円。

東日本 減産基調続き軟調様子見

(東京) 北海道、東北、新潟市場の鉄スクラップ市況は、電炉筋の減産基調が続く需要が低迷していることなどから、軟調様子見の推移を続けている。

東北、新潟市場は、電炉筋の減産に加え、新潟電炉の一部が荷止を継続しているため荷余り感が出ている。ただ、北関東電炉が慎重な価格対応を見せているため、9日の値下げ改定以降は目立った値動きを見せていない。台風や大雨の被害で市中スクラップの発生や荷動きに影響が見られる。当面は軟調さを残しつつ、様子見商況が続くと予想される。北海道市場は道内電炉の減産に伴い、引き続き荷余り感がある。内外の相場動向の様子見しながらの展開が続いている。

北海道市場の29日時点のH2炉前実勢価格は1トあたり1万8000~2万円中心。東北は1万9000~2万1000円。新潟は2万500~1500円中心だ。

上越マテリアル 近畿工業製スーパーシュレッダー導入

(新潟) 上越マテリアル(本社=新潟県上越市、小池作之社長)はこのほど、新潟事業所に近畿工業の分離型破碎機「スーパーシュレッダー」を導入した。雑品スクラップの加工処理ラインの中心に同機を据え、主に黒モーターを鉄や銅、アルミなどの単一原料に分別する。環境規制の変化にリサイクルの高度化で対応し、資源の国内循環を一段と推進していく方針だ。

同機は業界初となる工業系雑品の処理に特化した破碎機で、処理対象物を直接投入するだけで素材ごとの分離連続処理ができる。複合物を事前に分解する必要がないほか、過粉碎を防止して破碎負荷も低減する。また、独自の技術で破碎効率を向上。モーター類の処理では銅線と他素材の絡み付きを抑え、ダスト成分も

高い精度で分離する。

9月から本格稼働した新潟事業所の加工処理プラントでは、黒モーターをスーパーシュレッダーに直接投入。純度の高い素材に分離させた後、複数の高度設備で構成する選別ラインに流し、単一原料に仕上げていく。「鉄と銅を100%分離させる」(青木取締役)ことを目標に、黒モーターの処理量を月間200トに引き上げる計画だ。



【メタル・リサイクル・マンスリー11月号に詳細】

メール速報サービス

■ 東京製鉄、非鉄建値・ニュース速報

■ 主要国スクラップ輸出入・粗鋼生産 など

会費無料 登録無料

日刊 METAL RECYCLING JAPAN 市況通信

株式会社 日刊市況通信社

お問い合わせは mb@mrj.jpまで

価値ある製品を生み出す三浦の機械 MIURA

— OPR型新断用プレス機 —

●新断材の高速自動プレス
●本社工場で完全試運転済
●押し蓋、本体に刃物を標準装備
●コンパクト設計により省スペース化を実現
●計量ホッパーの標準装備により製品寸法が均一

製品寸法: 250W×250H×250L(≒)
製品重量: 45kg~50kg
投入ボックス寸法: 800W×600H×1250L(≒)
サイクルタイム: 40秒(全自動式)
動力: 100馬力(37KW×2基)

新断用プレス 100-OPR

他に220^φ、300^φ、400^φ仕様もございます。

株式会社 三浦機工株式会社

福島県郡山市喜久田町堀之内字釜場西18の28
電話(024)959-2613
FAX(024)959-2024